

会長メッセージ

13日、全日本学生弓道選手権結成60周年記念祝賀会に会長代行で出席してきました。あらためて、60年の歴史の流れを感じてきました。第1回の全日本学生弓道選手権大会は橿原で、18校、135名参加の下、おこなわれたとのこと。今回の60回大会は男子193校、女子203校でした。

男子団体戦を途中まで、観戦してきましたが、以前の声援の騒がしい学生大会とは、打って変わって、静かな声援の大会でした。また、運営も学生達で、きびきびと進められ、さわやかな気持ちで帰ってきました。

夏は大学・高校・中学と全国大会のシーズンです。

これからの弓道連盟を支え、発展させていくのはこれらの若い人たちの力だと、痛切に感じました。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆東大寺大仏殿前で射礼

8月25日(土)午前11時から、奈良国立博物館で開催されている、特別展「頼朝と重源」東大寺再興を支えた鎌倉と奈良の絆に因んだ射礼を執行することになりました。

鎌倉時代に小笠原長清によって創始された小笠原家宗家に依頼され、もっとも格式の高い大式的を予定しています。是非ご覧ください。

奈良県弓道連盟では、昭和30年頃から小笠原流の射礼を行っており、毎年、大和神社、橿原神宮で奉納を行っています。また、入門して勉強したい方は新司まで申し出てください。(新司正人)

◆第3回伝達講習会(学校指導者)

7月29日(日)橿原公苑弓道場にて学校指導者(顧問および高校生)を対象にした講習会が行われました。参加者は高校顧問8名(3名見学)と高校生28名でした。

講師は、指導部の西浦部長・山本副部长・岡本・前角の4名。矢渡(射手前角、介添え第一西澤式段、第二澤参段)の後、西浦部長による伝達の説明があり、体配や射に対する考え方等の内容もありました。続いて受講生による一手行射、西浦部長の講評、昼食、入退場と歩き方の実技指導、西浦部長の講評、射技指導というプログラムで進められました。

基本に忠実に行うことを基本テーマに、膝を生かすことをごまかさないこと、呼吸、道場内での見取り稽古の重要性などの具体的な説明がありました。

その後、立ち方、坐り方が基本通りできるか、膝を生かしているか、執弓の姿勢、入場の際の目線・弓の末弭の位置・元禄回りの説明など、実際に弓矢を持つての指導がありました。

大変暑い中の講習会でしたが、顧問・高校生とも一生懸命に受講していました。介添えをされた二人は初の経験とのことでありましたが、とにかく一生懸命されていました。この姿勢が受講生に刺激を与えたのではないかと感じました。内容的に高校生には難しい点もあったと思いますが、正しいことを早く知るといふ点では高校生にも実りある講習会になったのではないかと思います。

(指導部：前角)

各大会の記録

◆平成24年度第20回近畿高等学校弓道選抜大会

・7月22日(日)～23日(月)

・橿原公苑弓道場

参加者 個人戦 男子36名 女子36名
団体戦 男女とも14チーム

奈良県選手入賞者

個人

男子 優勝 徳永明飛(高田商業)
第6位 西村友佑(郡山)

女子 第4位 木場皐(平城)

団体

男子 第3位 高田商業高校
(福岡・徳永・大東・藤本・田中・大古)
第3位 畝傍高校
(倉角・竹岡・藪野・東沢・相原・上田)

女子 準優勝 高田商業高校
(南方・前田・平松・佐藤・高松・弥富)

◆近畿・東海・北陸・信越地区高等専門学校弓道大会

・7月27日～28日

・和歌山県田辺市弓道場

奈良高専が下記の成績を上げました。

○団体(5人・60射) 準優勝 Aチーム(32中)

○女子団体(3人・36射) 優勝(13中)

○女子個人 三位 遠近あすか(11中)

○男子個人 六位 日置拓也(9中)

○射技優秀賞女子 遠近あすか

○射技優秀賞男子 日置拓也

団体優勝は豊田高専で41中、的中数に関しては、優勝チームとの差は歴然たるものがありますが、射技優秀賞を男女ともに独占できたことを特に喜んでおります。昨年も現三年生堀川悠一郎が優秀賞を受賞していますので、この賞に関しては二年連続ということになります。(奈良高専コーチ 青木翼)

◆平成24年度 全国高等学校総合体育大会兼第57回 全国高等学校弓道大会

祝 高田商業高等学校 インターハイ優勝・技能優秀校

- ・松本市総合体育館（長野県）
 - ・参加者 個人 男女各96名 団体 男女各48校
- 8月1日

個人予選

男子	相原 卓弥（畝傍）	4射3中	通過
	西村 友佑（郡山）	4射3中	通過
女子	高松 愛美（高田商）	4射3中	通過
	園田 梓（橿原）	4射2中	敗退

個人準決勝

男子	相原 卓弥（畝傍）	4射3中	通過
	西村 友佑（郡山）	4射2中	敗退
女子	高松 愛美（高田商）	4射3中	通過

8月2日 団体予選

男子	高田商業高校	20射16中	通過
	福岡良剛・徳永明飛・大古凌也・戸井一輝・田中智・當麻直哉		
女子	高田商業高校	20射10中	通過
	南方由紀・前田知明・平松麻奈・佐藤瞳・高松愛美・弥富志笑		

個人決勝 射詰め

男子	相原 卓弥（畝傍）	○×
女子	高松 愛美（高田商）	○×

8月3日 団体決勝トーナメント1回戦

男子	高田商業13中	－	池田11中	勝ち
女子	高田商業13中	－	鶴岡南14中	負け

団体決勝トーナメント2回戦

男子	高田商業17中	－	崇徳15中	勝ち
----	---------	---	-------	----

8月4日 団体決勝トーナメント準々決勝

男子	高田商業17中	－	倉吉西8中	勝ち
----	---------	---	-------	----

団体決勝トーナメント準決勝

男子	宮崎工業14中	－	高田商業19中	勝ち
----	---------	---	---------	----

団体決勝トーナメント決勝

男子	高田商業17中	－	秀岳館16中	勝ち
----	---------	---	--------	----

高田商業高校男子は見事に初優勝を飾りました。

また、技能優秀校にも選ばれました。

（高体連）



『全国総体を振り返って』

本年度、長野県松本市で行われた全国高等学校総合体育大会弓道競技男子団体において優勝することができました。



これも日頃から本校弓道部の活動にご理解、協力をしてくださる保護者の方々、県内外の顧問の先生方、奈良県弓道連盟の方々の支えがあったからこそと思ひ感謝の言葉で一杯です。

さて、競技内容については予選では20射16中で無事にトーナメントに進出することができました。決勝トーナメントからは、予選と選手を入れ替えて挑みました。過去に2度出場していますが、決勝トーナメント1回戦で敗れており、ここからが本当の勝負という気持ちで挑み、1回戦ではなんとか勝つことができましたが、再度気持ちを切り替え、高的中を続け優勝することができました。決勝トーナメントからの試合はすべての試合で一進一退の攻防から、息を飲む試合が続きましたが、その中で、選手達自分たちの持てる実力を発揮できたのは、「失敗を恐れずに全力で挑もう」「奈良県の代表として恥じない射をしよう」ということが前提にあったからです。

今回、優勝と技能優秀校という名誉な賞をいただきましたが、これで終わりではなく、新たな一歩という気持ちのもと、これからの本校弓道部部員一同頑張っていきたいと感じています。

（弓道部顧問 中尾・増田）

◆国民体育大会近畿ブロック大会

8月19日（日）和歌山県田辺市で国体近畿ブロック大会が開催されました。結果は以下のとおり（近的・遠的・総合の順位）です。

少年男子（4・4・5）

少年女子（2・1・2）

成年男子（6・3・5）

成年女子（3・4・2）

となり、少年女子、成年女子が10月に岐阜県恵那市で開催される“ぎふ清流国体”への出場権を手中に収めました。

少年女子、成年女子の皆さんの岐阜での更なる活躍に期待するとともに、男子選手の皆さんのこれまでの頑張りに敬意を表します

◆第1回 世界弓道交流演武会（パリ）を終えて

日時：平成24年7月23日（月）

主催：国際弓道連盟

共催：全日本弓道連盟

会場：Le C. R. O. U. S（ル・クルーススポーツセンター）

昨年度の全国中学生弓道大会女子団体の部で香芝中学校が優勝しておよそ1年が経ちました。その成果を評価され、この度、全日本弓道連盟より第1回 世界弓道交流演武会の特別演武として、日本の中学生を代表して香芝中学校が招待され、本校から、3年女子生徒3名を選抜し、演武会に参加させていただきました。7月20日に日本を出発し、12時間かけてフランスへ。フランス滞在期間中はとても天候が良く、雲一つない日もあり、カラッとした気候で、とても過ごしやすかったです。少なくとも、同じ時期の奈良県よりは弓を引きやすい環境だなと感じました。フランスは日本との時差が7時間、日の入が遅く、午後9時でもまだ明るいということもあり、まずそれに「慣れる」ことがはじめての生徒たちの課題でした。



滞在3日目に公開練習があり、スポーツセンター（体育館）の特設会場で、丸三日間まともに練習ができなかったこともあり、午後4時から8時までしっかりと最終調整を行いました。『演武』ということで、特に、3人の呼吸を合わせることを一番に確認しました。翌日、演武会当日。開会式は、全日本弓道連盟 石川武夫会長のご挨拶で始まり、続いて射手石川会長、第一介添に教士七段リアム オブライエンさん（イギリス）、第二介添に教士六段トリグヴィ シグルドソンさん（アイスランド）による矢渡しを、参加者は体育館ギャラリー席から拝見させていただきました。この大会は、2年後の第2回世界弓道大会（パリ）のプレ事業を兼ねており、フランス弓道連盟の競技役員との運営力・連携の向上を図ることも目的とされています。

その後は参加者160名（内、日本から約60名）による四ツ矢1回の個人演武を行いました。中学生特別演武は、その個人演武の後で、男子の宮崎県都城市立西中学校の生徒3名と共に、四ツ矢の演武にいざ出陣。結果としては大前の弥富が4射1中、中立の上田が4射4中の皆中、落の渡邊が4射2中の的中でした。一発勝負の演武で、しかも多くの外国人愛弓家たちに見守られながら、かなりのプレッシャーもあったと思いますが、生徒たちは、息のそろった堂々とした演武を披露してくれました。当然、普段の競技とはまた違った緊張感があったようで、中には「試合のときよりもずっと緊張した」と

感想を述べた生徒もいました。

大会終了後の親睦パーティでは、他国の参加者の方との交流や石川会長ともお話ができたようで、弓道を通じて、様々な方と交流をさせていただくことができ、生徒たちにとって大変貴重な経験をさせていただくことができました。これも全日本弓道連盟と、多くの周りの方々の温かい励ましのおかげだと思っており、心から感謝御礼申し上げます。



そして何より、今回こうして参加できたのは、前年度で優勝を果たしてくれた先輩たちがいたからだという事に深く敬意を払いたいと思います。顧問・監督として、今後もその先輩たちに恥じない、また次回も招待していただけるような、全国の伝統校になっていければと思っております。本当にありがとうございました。

（香芝中 藤原）

◆ 弓道交流演武会ツアー（パリ）に参加して

早山 和子

2012年7月20日、待ちに待ったパリへの出発日を迎えました。朝、成田空港で弓矢を箱に詰め、特別待合室にて出発式をおこないました。全国から集まった一行は、昨年度の全国中学生弓道大会女子の部優勝校である香芝中学の生徒たちから範士の先生方まで、総勢70名です。

7月23日の演武会・懇親会は、本当に心に残るものでした。中学生の演武は、堂々として力強く、私たち高齢者も彼女たちの射で元気をもらいました。また、欧州の方々の射は美しく、各国の方々の弓道に対する意気込みを強く感じました。と同時に、文化の異なる国に、単に技術としての弓ではなく「道としての弓道」を伝えてこられた先達の先生方のご努力と熱意に、頭が下がる思いでした。

私は、弓道を通して奈良県の先生方と出会い、他府県の先生方と出会い、今回はヨーロッパにまで行くことができました。たった1日の交流会でしたが、60年前、高校のクラブ活動ではじめての弓道が縁となって、他国のみなさんと楽しむ機会をいただいたことに感謝しております。オリンピック選手とは比べようありませんが、同じスポーツを楽しむことで、言葉や文化の壁を越えた交流を体験できた幸せをかみしめています。

同行していただいたみなさん、弓道仲間のみなさん、本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。



◆近畿地区指導者育成講習会に参加して

平成24年7月21日(土)・22日(日)
主任講師： 須田 定雄 範士
講師： 久田 博康 範士
受講生： 近畿2府4県から34名
会場： 滋賀県立武道館弓道場
今回の講習会は、将来の弓道を担う指導者として、錬士六段以下・50歳未満の受講生を対象に行われました。
講話では
①指導者の役割と責務について(公益法人加盟団体の会員として・危険防止等について)
②弓道教本第一巻の正しい理解について。
実技では
③射礼での取り組み方(持ち的射礼・介添)
④基本体
いつもご指導いただいていることの繰り返しで、教本に則っての基本の動作・姿勢が主な内容でした。
矢渡しで、先生方の気迫に圧倒されたことは忘れられません。
初めての外部講習会に参加ということで自分の勉強不足・知識の乏しさ、基本の修練の大切さを痛感いたしました。講師の方々の熱心な指導で講習会の本当の意義を身近に感じることができ、懇親会ではお話を伺うことができました。普段、お話をすることもできない他支部の先生方とも、受講生の方々とは日頃の練習方法などなどお伺いすることができ勉強になりました。この機会を与えていただいたことに本当に感謝いたします。この講習で学んだことを忘れず皆様に自信をもってお伝えできるよう修練していこうと思います。

(安住)

支部使い

◆蒼穹会からの報告

蒼穹会では初心者向けの定期的な“教室”は開催していません。
ただし、香芝市体育協会に加盟していることから、年に一度広報誌で初心者も含めた会員募集をし、希望の初初心者には通常の稽古と同じく、毎週火・土の19時から2時間一緒に稽古をしています。

弓道具は会が所有しているもので対応できる場合は使い、徐々に個人の道具を揃えていき、巻藁、的前は進みます。この全ての稽古には必ず誰かが指導に当たります。この場合の指導は称号者以外も行うことがあります。

蒼穹会では基本的には個々人で稽古しますが、一つの目的が定まった時、やるぞと決めた時にはガッチリ円陣を組んで取り組みます。そんな会だからこそ、初心者も“自身”と向き合って自分のペースで稽古しています。
よろしければ、ご連絡の上一度覗いてください。お待ちしております。
以上、蒼穹会からの初心者状況の報告でした。
(牧浦)

◆奈良市弓道協会から

平成24年7月6日(金)～8日(日)午前6時から、奈良市弓道場で土用稽古が開催されました。2日目は警報が発令され中止になりましたが、すでに道場へ来ていた者たちが自主参加ということで3日間汗を流しました。
土用と云いながら、今年土用の入りは19日で2週間早く行われ、早朝のすがすがしい空気のなか、剣道約600名、柔道約200名、なぎなた約250名、槍、弓道、坐禅それぞれ約50名の参加がありました。
(新司正人)

編集後記

今回もたくさん寄稿いただきました。パリ大会の様子やインターハイでの活躍などうれしい紙面となりました。
支部からも投稿いただき、活動の様子を紹介しています。今後も各支部独自の活動紹介の場としてご活用ください。